

## A大学病院の救命救急センターに勤務する看護師のエンゼルケアの実施状況と大切にしていること、悲嘆する家族に対する思いと関り

救命ICU 横塚美紀 中田哲也 神馬千登勢



### はじめに

事故・慢性疾患の急性増悪による  
短期間での死のプロセス

死に直面した家族との  
人間関係の構築の困難さ

家族の心情をアセスメントし  
グリーフケアを提供

家族が現実を受け入れ、  
正常な悲嘆プロセスを辿れるよう支援



### 研究目的

悲嘆する家族に対する救命救急領域の  
看護師の思いと関わり、エンゼルケア  
の実施状況と大切にしていることを  
明らかにする。



### 研究方法

1. 研究デザイン  
質問紙による質的記述的研究
2. 研究対象者  
A大学病院救命救急センターに勤務  
している看護師47名。



### 3.調査方法

- ①対象者の背景
- ②家族と一緒に実施したエンゼルケアと実施した理由、  
家族と一緒にエンゼルケアを実施しなかった理由
- ③悲嘆する家族への思い、関わり方、エンゼルケアで大切にしていること

### 4.分析方法

- ・選択回答項目は単純集計
- ・自由記述回答項目は、意味内容を損なわないようにコード化。類似性に基づいてサブカテゴリ、カテゴリと抽象度を高めていった。



### 5.倫理的配慮

獨協医科大学病院臨床研究審査委員会において承認を得て実施した。

(承認29133)

対象者には研究参加が自由意思であること、参加を拒否した場合においても不利益や業務評価に繋がらないことを文書で説明し同意を得た。



## 結果

### 1.対象者の概要

47名に質問紙を配布し35名の回答を得た

### 2.エンゼルケア実施の有無と理由

「一緒に実施したことがある」：45.7%

「一緒に実施したことがない」：54.3%

### 家族と一緒に実施したケア（複数回答）

n=16					
実施したケア	(人)	(%)	実施したケア	(人)	(%)
清拭	15	93.8	詰め物	4	25.0
エンゼルメイク	13	81.3	洗髪	2	12.5
更衣	8	50.0	手浴	1	6.3
髭剃り	5	31.3	足浴	1	6.3
おむつ交換	4	25.0			



### 一緒にエンゼルケアを実施した理由（複数回答）

n=16		
家族に悔いが残らないようにするため	9人	56.3%
グリーフケアの一環と考えるため	8人	50.0%
家族に患者の死を受け入れてもらうため	6人	37.5%
後悔や悲しみを表出してもらうため	5人	31.3%



### 一緒にエンゼルケアを実施しなかった理由（複数回答）

		n=19
家族の動揺が強い	14人	73.7%
外傷部位が激しく家族に見せられない	12人	63.2%
時間に余裕が無い	10人	52.6%
警察引取のため	10人	52.6%
ケアの参加を促すタイミングがわからない	8人	42.1%
エンゼルケアを促したが家族に断られた	3人	15.8%
* その他少数回答：「看護師との関係性が確立されていない」「要望がなかったため」「COVID-19感染予防のため」		

### 3. 悲嘆する家族と関わる看護師の思い

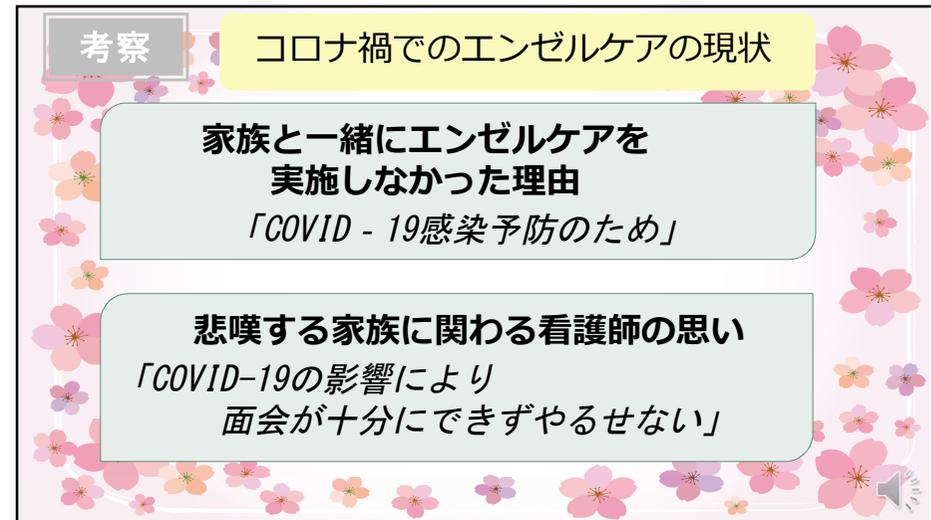
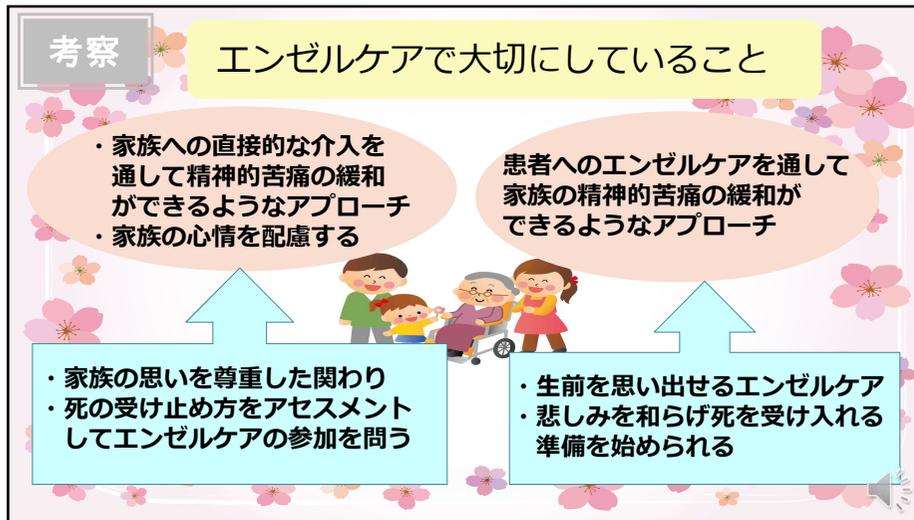
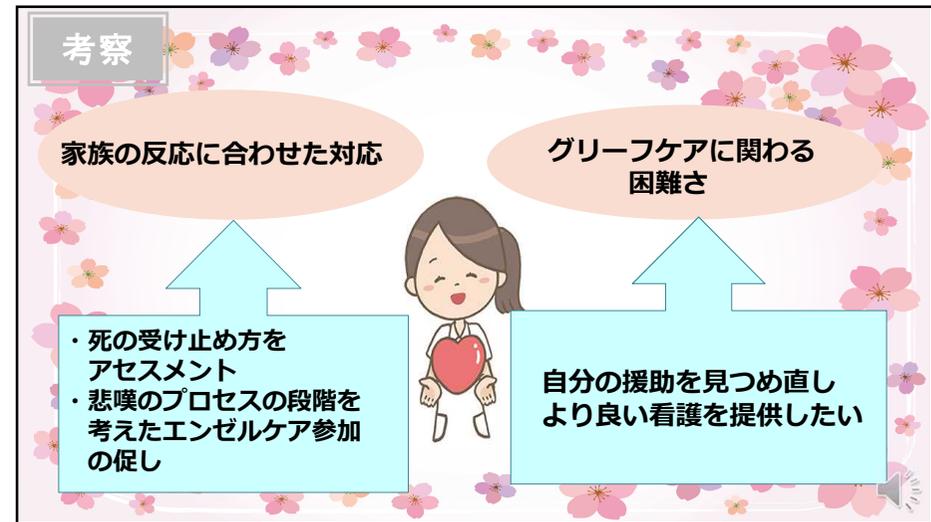
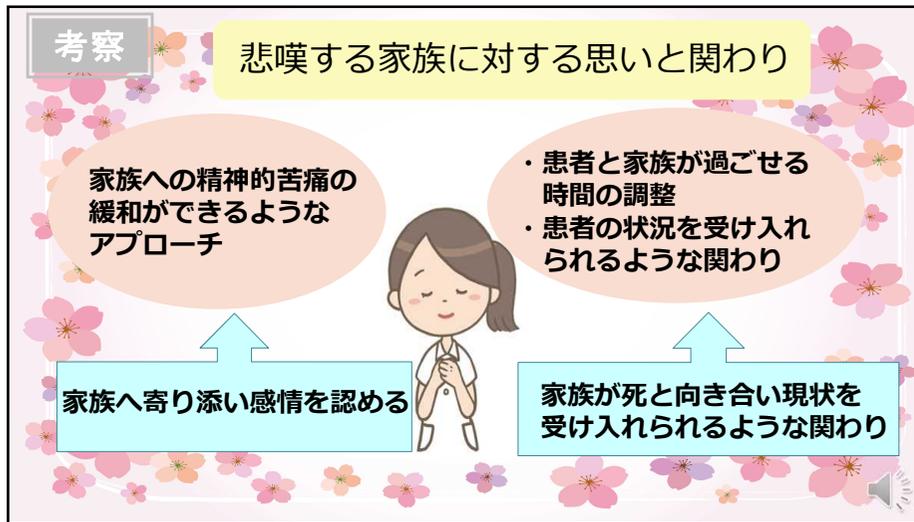
カテゴリ	サブカテゴリ
家族への精神的苦痛の緩和ができるようなアプローチ	できるだけことをしたい 安心感を与えたい 家族に寄り添いたい 短い時間で信頼関係を築きたい 患者を敬う気持ちを大切にしたい 専門職であることを意識して関わりたい 家族の反応の変化を気かけたい 悔いのない最後を迎えられるように対応する
患者の状況を受け入れられるような関わり	死を受け入れられるように時間をかけて関わりたい
グリーフケアに関わる困難さ	関わり方に難しさを感じている 正確な声の掛け方がわからず悩む 家族との十分な時間が取れず残りに思う 業務的なやりとりが多く申し訳なく思う COVID-19の影響により面会が十分にできずやるせない 技術不足に申し訳なさを感じる

### 4. 患者が亡くなり悲嘆する家族への関わり方

カテゴリ	サブカテゴリ
患者と家族が過ごせる時間の調整	患者の傍で過ごせる環境を整える 患者と家族が過ごせる時間を設ける
家族への精神的苦痛の緩和ができるようなアプローチ	家族の意向を取り入れる 家族の心情に寄り添う 思いの表出ができる関わりをする 安心感を与える関わりをする
家族の反応に合わせた対応	適切な患者対応をするために感情のコントロールを行う 家族の反応に合わせた対応を行う
患者の状況を受け入れられるような関わり	時間をかけて関わる 患者の状況を受け入れてもらえるような関わりをする 患者が亡くなる前の様子を伝える
グリーフケアに関わる困難さ	グリーフケアに関わる困難さ

### 5. エンゼルケアを行う際に大切にしていること

カテゴリ	サブカテゴリ
家族への直接的な介入を通して精神的苦痛の緩和ができるようなアプローチ	家族の要望に添えるようにする 悔いのない最期を迎えられるように対応する
患者へのエンゼルケアを通して家族の精神的苦痛の緩和ができるようなアプローチ	綺麗な姿に整える 衣類を整える 創部や出血が目立たないようにする 生前の姿に近づけるようにケアをする
家族の心情を配慮する	家族の思いを大切に 家族の心情を配慮する



## COVID-19対応の救命ICU病棟



## 考察

家族の意向を取り入れる

家族の思いを大切にする

悔いのない最期を迎えられるように対応する

家族の要望に添えるようにする

## 結論

- 家族とのエンゼルケアの実施**  
 実施した：45.7%  
 実施していない：54.3%
  - 一緒にエンゼルケアを実施した最も多い理由**  
 「家族に悔いが残らないようにする」
  - 一緒に実施しなかった最も多い理由**  
 「家族の動揺が強い」

## 2. 悲嘆する家族と関わる看護師の思い

【家族への精神的苦痛の緩和ができるようなアプローチ】

【患者の状況を受け入れられるような関わり】

【グリーフケアに関わる困難さ】

の3つのカテゴリ

### 3. 悲嘆する家族への関わり方

【患者と家族が過ごせる時間の調整】

【家族への精神的苦痛の緩和ができるようなアプローチ】

【家族の反応に合わせた対応】

【患者の状況を受け入れられるような関わり】

【グリーフケアに関わる困難さ】

の5つのカテゴリ



### 4. エンゼルケアを行う際に大切にしていること

【家族への直接的な介入を通して精神的苦痛の緩和ができるようなアプローチ】

【患者へのエンゼルケアを通して家族の精神的苦痛の緩和ができるようなアプローチ】

【家族の心情を配慮する】

の3つのカテゴリ



### 5. コロナ禍でのエンゼルケアの現状

感染拡大防止による制限がある中で家族の  
希望に添えるように、感染対策を行い  
家族に寄り添いケアを行うことができていた。



6. 悲嘆する家族と関わる際、  
家族の反応に合わせた対応が必要であり、  
エンゼルケアを行う際には、  
家族の思いが尊重できる関わりが大切である。



